

授業科目

救急法実習

【担当教員名】	対象学年	2 3 4	対象学科	本*
大滝 弘	開講時期	通年	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【概要】

スポーツ指導者として現場で必要な救急法の実践能力を習得することはもとより、救急法を学ぶことにより指導者として高い安全意識と事故防止に対する認識を身につける。

【学習目標】

- 救急法の理論を正しく理解し、より合理的な実践能力と判断力を養う。
1. 傷病者に対する適切な観察能力と判断力を身につける。
 2. 傷病者（意識障害、呼吸停止、心停止、大出血、服毒、熱傷）に対しての正しい応急手当ができる。
 3. 救急処置（心肺蘇生法、RICE、緊急時の対応）を理解し実践できる。
 4. 事故、災害に対する安全知識を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	救急法の目的とその範囲について		
2	救助者の遵守事項と実施上の注意点		
3	救急処置の基本とショックについて		
4	救急処置（心肺蘇生法 ①理解と手順）		
5	救急処置（心肺蘇生法 ②範囲と重要性）		
6	救急処置（心肺蘇生法 ③気道確保の方法）		
7	救急処置（心肺蘇生法 ④人工呼吸法の生理と実際）		
8	救急処置（心肺蘇生法 ⑤心臓マッサージの生理と実際）		
9	救急処置（心肺蘇生法 ⑥実習 気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ）		
10	救急処置（心肺蘇生法 ⑦実習）		動作、手順テスト
11	救急処置（心肺蘇生法 ⑧実習 一連動作反復練習）		
12	救急処置（心肺蘇生法 ⑨実習）		データ算出実技テスト
13	救急処置（心肺蘇生法に伴う副損傷と気道内異物の除去）		
14	救急処置（心肺蘇生法が必要となる特殊な状況、子供に対する心肺蘇生法）		
15	救急処置（RICE、緊急時の対応について）		
16	救急処置（手当ての基本と心肺蘇生法についての理解）		期末テスト（理論）
17	救急処置（RICE、緊急時の対応について、傷についての理解と止血法）		
18	救急処置（RICE、緊急時の対応について、各部のけがと手当の実際）		
19	救急処置（包帯法 実習①）		
20	救急処置（包帯法 実習②）		
21	救急処置（包帯法 実習③）		実技テスト
22	救急処置（骨折の分類、観察、手当について）		
23	救急処置固定法 実習①		
24	救急処置（固定法 実習②）		実技テスト
25	救急処置（緊急時の対応、脱臼、捻挫、打撲、肉離れ、腱の断裂について）		
26	救急処置（緊急時の対応、心臓発作、心不全、脳卒中、呼吸困難、腹痛について）		
27	救急処置（緊急時の対応、発熱、脳貧血、中毒、暑熱障害、異物について）		
28	搬送法の実際と応用担架について		
29	災害救護とその対応（地震、水害）		
30	救急処置（傷と止血、骨折、脱臼、捻挫、急病、搬送、救護について理解）		期末テスト（理論）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	01/10 ¥1,000 (税込み)
	スポーツ救急マニュアル	小山 郁	山海堂	04/10 ¥1,785 (税込み)
	公認スポーツ指導者養成テキスト	共通科目Ⅰ・共通科目Ⅱ・共通科目Ⅲ	(各ワークブック含)	
参考書	スポーツ現場における救急処置のポイント	浅井宏祐	文光堂	98/11 ¥7,350 (税込み)
その他の資料	目で見る救急処置法	東京消防庁	東京法令	04/09 ¥3,990 (税込み)

【評価方法】

出席 10% 実技テスト 40%
 期末試験 50%

【履修上の留意点】